

クロレラ摂取によりヒトの分泌型免疫グロブリンAの分泌速度が増大する効果について  
研究成果がオンラインジャーナルに掲載されました。

Nutrition Journal に掲載

風邪やインフルエンザなどの上気道感染症の防御において重要な役割を果たす「分泌型免疫グロブリンA(sIgA)」について、クロレラの摂取によりその分泌速度が増大する結果については、[第9回日本抗加齢医学会総会](#)にて既に報告しておりますが、この度その成果に基づき論文が掲載されましたのでここにご報告致します。

《詳細》

雑 誌: Nutrition Journal

タイトル: Salivary Secretory Immunoglobulin a secretion increases after 4-weeks ingestion of chlorella-derived multicomponent supplement in humans: a randomized cross over study

著 者: Takeshi Otsuki<sup>1)</sup>, Kazuhiro Shimizu<sup>2)</sup>, Motoyuki Iemitsu<sup>3)</sup> and Ichiro Kono<sup>4)</sup>

所 属: 1) Faculty of Health and Sport Sciences, Ryutsu Keizai University

2) Sports Research & Development Core, University of Tsukuba

3) Faculty of sport and health science, Ritsumeikan University

4) University of Tsukuba

この情報は、学術雑誌や学会において発表された内容の掲載であり、商品の販売促進を目的とするものではありません。